

## 第1回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ 参加者からの意見等

～県民体育館からはりまや橋周辺までのまちづくりについて～

### 【賑わいづくり】

#### (1) 県民体育館からはりまや橋周辺までの沿道について

- ・沿道に、シンボルとなるようなオブジェの設置（あんぱんまん、パンどろぼう etc）
- ・プロジェクションマッピングで沿道を装飾
- ・「新県民体育館まであと〇m！」などの看板の設置（ヌオーやアンパンマンを起用）
- ・街灯などをカラフルに彩る
- ・電信柱に貼る広告ポスターを電子化し、イベント情報などを発信
- ・電車の線路に草花を植栽し、彩る
- ・沿道などで VR を使ってよさこいを楽しんでもらう
- ・キッチンカーやオープンカフェ
- ・日曜市のようなイベントを開催
- ・沿道を帯屋町のような商店街へ（ブリクラ、商店 etc）

#### (2) 新県民体育館でライブやイベントを開催しているとき

- ・ライブやイベントに連動したラッピング電車を走らす
- ・歩道橋にライブやイベントと連動した横断幕を設置
- ・帯屋町などで、ライブと連動した BGM を流す
- ・デジタルスタンプラリーの設置（イベントやライブと連動、マンホールを活用したスタンプラリーなど）
- ・デジタルサイネージを活用したデジタル看板を建物の高い位置など複数箇所に設置し、イベント情報などを流す。（ライブの時にはそのアーティストのメンバーを1つの看板に1人ずつ紹介し、写真をとったり楽しみながら体育館まで歩いてもらう工夫、牧野植物園の植物の紹介、そのときの流行のものを流す、近くの飲食店の紹介 etc）
- ・プロスポーツ開催時には、沿道に選手の旗や等身大のパネルを立てる

#### (3) 県民体育館周辺に新たに設置する建物など

- ・温泉やサウナ施設、ジムなどのスポーツ施設、公園、ライブスタジオ
- ・LUUP（電動キックボードと電動アシスト自転車のシェアリングサービス）の設置
- ・イベントがないときにも使いたくなるような、カフェや自習室の設置
- ・よさこいの演舞場、小さなイベントができるような広場の設置
- ・ライブや試合前後にごはんを食べ、友達や家族とくつろいだり会話ができるスペースの設置
- ・沿道に高知でしか食べられないものを提供できる場所・お土産の店（田舎寿司 etc）

#### **(4) その他**

- ・県民体育館周辺の飲食店をまとめたマップづくり
- ・鏡川の橋にくぼみを作って休憩スペースを設置する
- ・鏡川でのボート体験ができるような場所を設置

#### **【インフラ整備】**

- ・植樹帯を無くし、きれいな道路
- ・各停留所や歩道の幅を広げる
- ・新県民体育館までの道のりでゴミ拾いを行ってもらい、参加者には記念品などを渡す
- ・自転車の走りやすいフラットな道路
- ・歩道に屋根を設置する
- ・ユニバーサルデザイン
- ・鏡川の橋を作り直す
- ・近隣にコインパーキングなどの駐車場を設置
- ・路面を廃止し、自動運転の公共交通にする
- ・近隣にバスターミナルを設置
- ・路面電車の本数を増やす
- ・空き家を活用
- ・パークアンドライドの利用